

草の根 通信

VOLUME

108

Kusanone Tsushin

[2021年9月発行]



秋のマサチューセッツ州

特集 「寄稿」日本人と髭の白人男性の謎の写真 文：神谷 良昌氏

- ・日米草の根交流サミットオンライン同窓会
みやぎ大会～サンフランシスコ・バイエリア大会 開催報告

万次郎の第二の故郷となったアメリカ マサチューセッツ州フェアヘーブン。その隣町のニューベッドフォードは当時捕鯨業の拠点であり、ホイットフィールド船長と万次郎を乗せたジョン・ハウランド号の帰港地です。その町で「万次郎とホイットフィールド船長との写真」が見つかったというニュースが2016年に流れました。果たして万次郎がフェアヘーブンに滞在していた当時の姿なのか。その真相を『ジョン万次郎 琉球上陸の軌跡(琉球新報社)』著者の神谷良昌氏より寄稿いただきました。



「寄稿」

日本人と髭の白人男性の 謎の写真

文：中浜万次郎国際協会 神谷 良昌

2016年4月に国内の新聞に掲載された「日本人と髭の白人男性」が「万次郎とホイットフィールド船長」ではないかとツーショットの写真がニューベッドフォード図書館で発見された。その写真が謎の写真として扱われていた。私は現地に行けば何かわかるのではないかと思った。

2020年10月5日と6日の両日にフェアヘーブンで「第17回ジョン万次郎フェスティバル」が開催されることを私は知っていたので、2度目のマサチューセッツ州に単身で行くことにした。フェアヘーブン訪問は、2度目で27年振りにミリセント図書館のキャロライン館長に再会することもできた。ホイットフィールド船長の5代目ロバートさんとも懇談できたのも大きな収穫だった。

フェスティバルが終わり、フェアヘーブンの街をひとりで散策しながらフェアヘーブン観光センター・博物館を訪ねるとクリス館長が迎えてくれた。その時に謎のツーショットの写真も館内に展示されていたので館長に「この写真の人物は、万次郎とホイットフィールド船長ですか」と質問してみた。偶然にも彼自身がその写真について研究しており、私の質問に対する答えは、「No, they are not」の明確な返事だった。残念ながらその日本人の名前をその場で資料もなく確認できずメールでやり取りをすることになり名刺を交換した。

その後のメールで、クリス館長が言うには、「日本人は、ニューなかもろかじゅヨークで新聞記者をしていた『中村嘉寿』という人で、髭の白人男性は、ニューベッドフォードで当時捕鯨用モリ銃を製作していた『フランク・ブラウン』という人である。」ということが分かった。私は、早速、中村嘉寿について調べてみることにした。

中村嘉寿は、鹿児島県出身で万次郎がハワイから帰国のため琉球に向かったのが1850年だから、50年後の1900年にニューヨークの大学に入り、商科と大学院の両方に籍を置いて働きながら学んでいる。大学を卒業して修士号を得た後、『日米週報』の記者となってしばらくニューヨークに滞在していたことがわかった。そして、1912年に帰国し福德銀行・輸出水産会社・内外水産会社専務取締役を務めた。1924年には、第15回衆議院議員総選挙に出馬し当選、その後も第17回から第19回まで連続当選を果たした人物である。

クリス館長が言うには、中村嘉寿は、ニューヨークに来て2年後の1902年にマサチューセッツ州ニューベッドフォードを訪問し、当時実力のあったヤング兄弟会社の社長に捕鯨

船員になりたいと頼むが、「捕鯨船の水夫は、ごろつきやならず者が多いのでやめておけ。あなたのような教育をするものがやる仕事ではない」と言われ断られた。しかし、それでも捕鯨業を学びたくてフランク・ブラウンの製作所を訪ねて捕鯨用モリ銃の見習工として学ぶことになった。そのころ、フランク・ブラウンは、隣町のフェアヘーブンに住むホイットフィールド船長の息子であるマーセラス・ホイットフィールドを中村嘉寿に紹介してくれた。そこで初めて、中村嘉寿は、50年前にフェアヘーブンに住むホイットフィールド船長に愛された若い日本人の話を聞かされたのである。その少年の名前は、ジョン・マンと呼ばれ、当時は捕鯨船員の中で最高の男であったと称賛されていたと言う。その後も、中村嘉寿は、万次郎の遭難した時の話から、捕鯨船員として世界の海を航海し、ゴールドラッシュ、そしてハワイから仲間と一緒に琉球に向かった話を初めて聞き大いに万次郎の生き方に共感したと思われる。そして、その後もブラウン家族、ホイットフィールド家族とも親しくして連絡し交流を続けたのだ。



フランク・ブラウン

そこで、私は例の謎の写真は、時期的にいつごろ撮られた写真なのかとクリス館長に聞いてみた。彼はきっぱりとその写真は、「1905年にボストン近くのポーツマスで結んだ日露戦争の講和条約会議の新聞記事を中村嘉寿は書き終えると、その記事がボストン新聞とニューヨーク新聞に掲載された。その後でニューベッドフォードのフランク・ブラウンを訪ねた時に地元新聞記者によって写されたものだろう」と説明してくれた。中村嘉寿は、地元ですでに有名な新聞記者であったという前提がある。或いは、翌1906年にも中村嘉寿は、ニューベッドフォードとフェアヘーブンを訪ねている。そのどちらかで謎の写真は写されたとクリス館長とカール・シモンズは推測している。

クリス館長は、地元ニューベッドフォード新聞とフェアヘーブンスターの地元紙に掲載された当時の新聞記事のコピーを私にメールで送ってくれた。同時にフランク・ブラウンが工作所で写されている写真も送ってくれた。謎の写真が写された場所がその工作所で写されたものだと証明するためである。私は、



嘉寿とフランク

クリス館長のアメリカ側の資料と日本側の中村嘉寿の資料を照合することにした。中村嘉寿の自叙伝『世界の日本へ』に、嘉寿とフランク・ブラウンとの関係が時期的にも内容的にも共通し、2人の関係を新聞記事でも確認できたためクリス館長の推測と一致したので、謎の写真は中村嘉寿とフランク・ブラウンであると証明できたと思っている。

ところで、パールハーバー奇襲攻撃の前年1940年にホイットフィールド船長の4代目に当たるウィラードが母マリー・ルイス、船長の孫娘アリー・オメイ嬢とともに来日した。その時は、万次郎の長男東一郎の妻である芳子夫人、3代目の清夫妻が一家を挙げて歓迎した。戦後、1976年に明らかになるが、ウィラードは、ルーズベルト大統領の親戚にあたり、事前に大統領から戦争回避のための特命を受けて来日した「平和使節団」であったという。7月8日には、中濱清夫妻主催の盛大な歓迎晩餐会が帝国ホテルで行われた。その晩餐会の目的は、日米両国の親善・平和を願い、緊張状態にあった日米関係を修復し、日

米開戦を回避するためだったが、残念ながら翌年の1941年12月8日にパールハーバーにおいて日本軍の攻撃により太平洋戦争に突入した。結局は、「平和使節団」の戦争回避の最後の努力も水の泡となってしまった。帝国ホテルでの晩餐会の集合写真が残っているが、前列中央に①グルー駐日大使夫妻、その後ろに3代目の中濱清夫妻、②清の左手側にホイットフィールド船長の4代目で③ウィラード・ホイットフィールド、そして、ウィラードの左手側に立っている男性がこれまで誰もが気に留めてなかった人物。実は、今回の謎の写真を究明したお陰でその人物こそが★中村嘉寿であることがわかったのである。日米交流の立役者として日本側の「平和使節団」の受け入れを陰で支えていたのが中村嘉寿だったと思って不思議ではない。そして、万次郎の国際人の生き方に共感した次の世代の若者であった。



平和使節団 ①グルー駐日大使夫妻(夫人はペリー提督の孫) ②中濱 清 ③ウィラード・ホイットフィールド ④中濱 博(万次郎4代目) ★中村 嘉寿

日米草の根「絆」交流2021 日米草の根交流サミットオンライン同窓会

みやぎ大会～サンフランシスコ・ベイエリア大会 開催報告

7月22日(海の日・木)午前8時～(アメリカ太平洋時間7月21日(水)午後4時)

参加人数:約50名



石川理事長



ケリー理事長

という参加者の皆様の熱意が集まった会となりました。インフォーマルながらもオープニングには、石川新理事長のビデオメッセージでの挨拶、ケリーCIE-US理事長の挨拶を寄せていただき、また、中濱家から5代目の京氏を含む3人、ホイットフィールド5代目夫妻、そしてペリー氏が揃い、万次郎と船長の出会いから続く180年の交流を祝いました。事務局の技術操作の改善が課題となりましたが、交流会では6つの小グループに別れ、かつてのホスト・ゲストの懐かしい方達との会話を楽しんだと大好評をいただきました。今回の交流会をお手伝いいただきました、みやぎ大会の実行委員会の皆様に改めて感謝申し上げます。今後、リクエストに応えるべく、このような同窓会イベントを引き続き企画したいと思います。

2009年みやぎ大会、2010年サンフランシスコ大会開催、そして今年は東日本大震災から10年。10年に渡る日米草の根交流サミットの絆を確認できる同窓会となりました。

日米双方の参加者が画面上で交流するスタイルのZoomイベント開催は初めての試みでしたが、コロナ禍だからこそ「懐かしい方達に会いたい」



参加者からの声(抜粋)

- 暫くお会い出来なかった日本の方々やサンフランシスコの方々とお目にかかれ、楽しい時を過ごしました。
- 初めてのことで、あまり要領を得ず少し心残りでしたが、お元気そうな皆さんのお顔を拝見できたことが、本当に懐かしく嬉しかったです。

- 初めての経験でしたので思うように話せませんでしたが、オンライン同窓会に参加出来て、とても嬉しく思います。
- Truly enjoyed connecting with old friends and meeting new people too.
- It was really fun talking with my friends who connected to me and my family over 12 years after the Japan-America Grassroots Summit.

オンラインイベント続々開催!

ウェビナー「民家の魅力 Magic of Minka (仮)」

11月3日(水・文化の日)午前9時^{*}(予定) ※詳細はHP/Facebookページで近日公開します。
(アメリカ東部時間 11月2日(火)午後8時～)

ゲスト: 瀧下 嘉弘(古民家移築建築家・NPO日本古民家保存協会代表) 共催: CIE-US

ホームページおよび Facebookページで随時ご案内します。

<http://www.manjiro.or.jp/> <https://www.facebook.com/manjiro.grassroots/>
(Facebookページのフォローをお願いします。)



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan



株式会社アイシン
AISIN CORPORATION



愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION



株式会社ECC
ECC Co., Ltd.



株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION



全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.



ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.



株式会社デンソー
DENSO CORPORATION



株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.



豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.



トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION



株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation



豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION



トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION



株式会社ニフコ
Nifco Inc.



日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.



地球と手をつなぐ、電材カンパニー。
深田電機株式会社
FUKADA DENKI



富士通株式会社
Fujitsu Limited



ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.



三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited



株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation



三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation



明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.



公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

東京海上日動火災保険株式会社 / パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社
Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 Corporate member


明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念
国際草の根交流センター
John Manjiro Whitfield Commemorative
Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175
Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : <http://www.manjiro.or.jp>

A young girl with long dark hair, wearing a white headband and a pink dress with a white geometric pattern, is smiling and looking back over her shoulder. She is standing in a busy outdoor market with various stalls and people in the background. The lighting is bright and natural, suggesting daytime.

彼女の名前はクロエ。
アジアの小さな町で暮らしています。
まだ誰にも言っていないけれど、
将来は、獣医さんになりたいそうです。

そんな女の子の毎日に、
私たちの仕事は役立っているだろうか。
三菱商事は、そんなことを考えます。
彼女の未来を考えることは、
この世界の未来を
考えることにつながっている。
そう思うのです。
仕事広がるほど、複雑になるほど、
その先にある一人の幸せを想う。
私たちは、三菱商事です。

世界とひとりのために。

Japanese Hospitality Wherever You Fly

